

白井市行政改革推進委員会から提案された内容の取り扱いについて

【行政改革推進委員会の提案】

	提案項目	行政改革推進委員会からの提案内容	取組項目
1	家庭ごみの有料化	市は、ごみの減量化を推進しているが、家庭ごみの有料化を行うことで、ごみの減量化が図られる研究もある。ごみの減量化を図り、処理費用を削減させ、歳出の削減を図るため、家庭ごみの有料化を行う。	家庭ごみを有料化するための働きかけ (P.2)
2	街路樹の伐採	市道の街路樹マスや植樹帯の街路樹は、公園や家庭の樹木と並んで植樹されている場所など街路樹の必要性が薄い場所もある。街路樹は、維持管理にお金がかかるので歳出削減を図るため、不要と思われる街路樹は伐採する。	街路樹の維持管理コストの削減 (P.3)
3	外国人観光客との交流を増やし、観光収入を得る	成田空港を利用する外国人観光客が市内に立ち寄り、市内で活動・交流することで、新たな観光サービスが生まれ、市内の事業者にとってビジネスチャンスが広がる。	観光客による観光収入の確保 (P.4)
4	施設の目的外利用・活用の推進	施設利用については、目的に応じた利用だけでは、使用料収入は頭打ちである。利用率や使用料収入を増やし、歳入を確保するため、目的外の利用・活用を推進する。	行政経営改革実施計画案に位置付け 2-3-⑥-2 公有財産の有効活用 (資料 1 P.25)
5	小規模事業者を対象とした事業系ごみ袋の有料化	小規模事業者が排出するごみは、事業系ごみとして処理する必要があるが、自営業者などの小規模事業者の中には、家庭ごみとして市に処理させている事業者もいる。事業系ごみは、市が収集せず、また処理費がかかることから、小規模事業者の負担が大きい。歳入確保のため市が、新たに小規模事業者を対象とした有料の事業系ごみ袋をつくり収集する。	事業系ごみは、事業者が自ら処理する必要がある。 事業系ごみを印西地区環境整備事業組合で処理した場合、市のごみ量が増え、市が支払う負担金が増えるため、実施できない。

基本方針 2 自立した行財政運営

4. 歳出の抑制

- ① 事業の見直しや統廃合、民間委託や協働などを積極的に進めます。また、一定の費用でマンパワーの効率化を図るとともに、再任用職員の能力や知識を活用し、仕事の効率化を図ります。

整理番号	2-4-①-?	項目名	家庭ごみを有料化するための働きかけ	所管課	環境課	
これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市は、ごみの減量化を推進している。 家庭から排出されるごみの収集・運搬及び処理に関するごみ処理事業は、印西市、白井市及び栄町との2市1町で共同する事務として印西地区環境整備事業組合が行っている。 市は、印西地区環境整備事業組合が実施する次回のごみ処理基本計画（平成31年度から平成45年度）の見直しの際に、家庭ごみの有料化を位置付けるように働きかけている。 					
これからの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、印西地区環境整備事業組合のごみ処理基本計画にごみの有料化を位置付けるように働きかけを行う。 家庭ごみの有料化を行うことで、ごみの減量化を図り、処理費用を削減させ、歳出の削減を図るため、組合主導により、印西市と歩調を揃えながら計画的に取り組む。 					
目的	歳出削減を図るため。					
目標時期	未定					
実施内容				実施スケジュール		
				平成30年度	平成31年度	平成32年度
印西地区環境整備事業組合へのごみの有料化の働きかけ				→		
目標				効果		
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 印西地区環境整備事業組合へのごみの有料化の働きかけ 			【市の効果】 ・ごみの減量化が削減されることで、ごみ処理に要する市の支出が削減する。 【市民の効果】 —		
平成31年度						
平成32年度						

基本方針 2 自立した行財政運営

4. 歳出の抑制

- ① 事業の見直しや統廃合、民間委託や協働などを積極的に進めます。また、一定の費用でマンパワーの効率化を図るとともに、再任用職員の能力や知識を活用し、仕事の効率化を図ります。

整理番号	2-4-①-?	項目名	街路樹の維持管理コストの削減	所管課	都市計画課	
これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市の街路樹は、千葉ニュータウン事業や、西白井地区の道路整備において整備してきた。 ・街路樹は、街並みや快適な歩行空間の確保のためのメリットが大きいですが、毎年の街路樹の維持管理のために多額の管理費用が必要となっている。 ・平成 28 年度に街路樹の必要性について検討した上で、維持管理のコストを削減するため、街路樹の管理方針の見直しを行った。 					
これからの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな街路樹の管理方針に基づき、街路樹の維持管理コストを削減する。 ・街路樹の植樹の必要性が薄い場所や市民から伐採の希望の多い街路樹については、市民と意見調整を行った上で、伐採する。 					
目的	歳出削減を図るため。					
目標時期						
実施内容				実施スケジュール		
				平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
街路樹の維持管理コストの削減				→		
市民との意見調整				→		
目標				効果		
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の維持管理コストの削減 ・市民との意見調整 					
平成 31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の維持管理コストの削減 ・市民との意見調整 					
平成 32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の維持管理コストの削減 ・市民との意見調整 					
				効果額 ■ 円		

基本方針 2 自立した行財政運営

3. 財源の確保

⑥ 多様な収入確保策の検討

整理番号	2-3-⑥-?	項目名	観光客による観光収入の確保	所管課	商工振興課 しろいの魅力発信課
これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報誌等に市のイベントや施設を掲載し PR している。 ・千葉県が実施するイベント等に参加している。 ・四街道市が主体となった印旛郡市の観光の広域連携事業に参加している。 ・平成 29 年度にしろいの魅力発信課を設置し、白井市の魅力発信をスタートしている。 				
これからの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市は観光素材に乏しく、また、印旛管内の市町をとってみても観光 PR に欠ける状況にあり、これからの展開としては広域的に連携した取り組みが求められていることから、広域連携による観光を検討する。 				
目的	成田空港や北総鉄道を利用する観光客が市内に立ち寄り、市内で活動・交流することで、新たな観光サービスが生まれ、市内の事業者にとってビジネスチャンスが広がり、ひいては税収の確保につながるため。				
目標時期					
実施内容			実施スケジュール		
			平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
観光の広域連携の検討					
目標			効果		
平成 30 年度	・観光の広域連携を検討する。				
平成 31 年度	・観光の広域連携を検討する。				
平成 32 年度	・観光の広域連携を検討する。				
			効果額 ■円		